
美しき人

上条麗香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

美しき人

【Nコード】

N3024Y

【作者名】

上条麗香

【あらすじ】

平凡に暮らしていた男女が、ある日見た夢のせいで不思議な体験をして、色々な思いに翻弄されながら愛をはぐくんでいくちょっとミステリアスな愛の物語

出会い 運命

出会い

私は小さな町で喫茶店を営む23歳の平凡な男、名前は立川哲也
両親は飛行機事故で3年前に他界両親が残してくれたお金で喫茶店
を出してまあ普通に暮らしている。彼女も最近できて一応幸せだ彼
女の名前は野上洋子ボイッシュなスタイルもまあまあいい、性格のき
ついところを除けば僕には会ってるかな？

「ねえコーヒーひとつお願いね」「はいコーヒーひとつね」
店のドアが開いた

「いらしゃいませ」洋子の声にドアの方に目を向けるとそこにびっ
くりするほど美しい人が立っていた

彼女はカウンターに座り「ブレンドお願い」と注文する「ブレンド
ですね」なんてきれいなのだろう

ただきれいだけじゃなく何か不思議な影をただよわせている。「お
まちどうさま」「ありがとう、まあ美味しいわ」「どうも、良かつ
たらお変わりしてください」そんな普通の言葉しかでてこない、ど
うしたんだろうもう洋子の存在さえ無くなっていた。彼女は何か考
え込むような感じでコーヒーを飲んで帰って行った、もう僕の頭には
彼女のことしかなく何か遠い昔に彼女に会ったような気持ちにな
っていた、、

「ねえ、哲也彼女と知り合い」？「いや今日が初対面だけど、どう
して」「そう、何か昔からの知り合いみたいな気がしたから」洋子
の言葉にちよつとドッキとしている自分が不思議だった、

「ねえ、哲也今日泊まっていい」甘えるように洋子がいう「いや
今日はちよつと用事があるんだまたな」「ひどい！どうしたの彼女
に会ってからずっと哲也おかしい」そういつて泣きながら洋子は帰
って行った、いつもなら追いかけて抱きしめてやるのだけど今日は

そんな気持ちになれない、こんな時でも僕はあの彼女のことを考えていた。

運命

洋子と喧嘩別れをしてから、数日の時が流れたある日あの彼女が店に来た

「いらしゃい、久しぶりだね」「ほんとうね、ちょっと忙しくて、あら奥さんは？」「はあ？奥さんなんていないよ、まだ独身」「この間来たとき可愛い人いたじゃない、あの人違うの」「ああ、あの子は友達だよ」彼女とはいえなかった、
「そう奥さんだとばかり思っていたわ」そういつている彼女の顔は何故か嬉しそうな気がした。「私、本当は貴方を探していたのやっと思つたら結婚していると思つたからとてもショックでしばらくここへ来れなかったの」唐突にそういわれてただびっくりして言葉が出てこない、その事を察したのか彼女は話始めた「私は佐々木香織、つい最近ココへ東京から越して来たの貴方とは前世で恋人同士だったの、この間まで私も知らなかった私も普通に彼氏もいて暮らしていたのよところがある日夢をみたの、はつきり今でも覚えているわその夢の中で貴方を探してと何回も声がするのよ、最初は変な夢をみてしまったぐらいしか思わなかったのだけど毎日なのそれから私は貴方探しにあげくれたわ、そしてとうとう見つけた貴方に会つてただの夢じゃないこれはきっと運命だと思つたの
きつと貴方も思い出す日が来るわそう遠いことじゃない」え！なんだ彼女はなんの話をしているんだろう頭のなかがおかしくなってきたきうだ、いや僕がおかしいんじゃないこの子がおかしいんだなにか夢をみているのか、ただ軟派をしにきているのだろうか、まさかそんな変なことを言つて軟派しなくともこの子だったらすぐにでも彼氏の2・3人できるだろう。と、言う事は本気でこんなおとぎ話のよくな事を言っているのだろうか「哲也さんびっくりしたでしょう、

でもい言ったことはうそじゃないのよ」「どうして僕の名前を知ってるの」「貴方の事はすべて知ってるわ夢の中の前世の私が教えてくれたの、もう少ししたら貴方の夢の中でも前世の貴方が私のことを教えてくれるわ、私はそれまでここでこの町で待っているわ」そういつて香織は帰って行った、前世、前世の僕本当に今の現代にそんな事が存在するのか？いたい今のこととはなんだったのか、でもすべて否定するにはちょっとリアルすぎるのか！このときはこれから起こる不思議な出来事を考えもしなかった。

つつ”く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3024y/>

美しき人

2011年11月13日21時06分発行